

Safety for Everyone

交通社会に参加する、すべての人の安全をめざして

お客様に「安全な製品(ハード)をお渡しする」とともに、「安全に運転していただくための知識や技術(ソフト)をお伝える」ことで、はじめて安全な商品をお渡ししたと言えると考え、安全運転普及活動を「社会的責任として行う企業活動」と位置づけ、取り組んできました。

いま、Honda がめざすのは「すべての人の安全」。

運転者だけでなく、歩行者、自転車利用者など、交通社会に参加するすべての人の安全を守りたい。そのために、子どもから高齢者まで各年代に応じた交通安全啓発活動を地域社会と一体となって進めることが必要と考えています。

■ 安全運転普及本部の活動の三本柱

すべての人に安全を届けたいから、人づくり、場づくり、ソフトウェアの開発に取り組んでいます。

人づくり

交通安全を伝える
指導者を養成しています。

効果的に交通安全教育を行い、活動を広げるためには、それを実践する指導者が必要不可欠です。そのため、Honda は手渡しの安全の担い手である指導者の養成に積極的に取り組んでいます。また、活動に賛同していただける企業・地域・自動車教習所などの方々へ、要望に応じて指導ノウハウを提供するなど、指導者養成を支援しています。



場づくり

交通安全を考え、学ぶための
「場」と「機会」を提供しています。

交通ルールやマナー、安全運転について日常的に考え、学ぶための「場」と「機会」をお客様や地域の方々へ提供しています。例えば、親子で学べる交通安全教室や危険を安全に体験していただく参加体験型のスクール、受講者同士の話し合いの中から自分の交通行動を振り返る講習など、様々な学びの「場」と「機会」を創出しています。



ソフトウェアの開発

学習効果を高めるための「教育プログラムや教育機器」を開発しています。

安全教育の現場でご活用いただける教育プログラムや教育機器等、「ソフトウェアの開発」も安全運転普及本部の重要な活動の一つです。本人の気づきを促す各種交通安全教育プログラムや、危険を安全に体験いただける二輪・四輪・自転車の各種シミュレーターなど教育機器の開発に力を入れています。



■ 安全運転普及本部の活動体制

できるだけ多くの人に
安全教育に参加してほしいから、
活動の場を広げています。

安全運転普及本部を中心に、各年代に応じたきめ細やかな安全運転普及活動が行えるよう、活動体制を整えています。それぞれの活動拠点に、役割に応じた専任のインストラクターやスタッフが配置されており、皆様に交通安全教育を提供したり、関係諸団体と連携した交通安全活動に取り組んでいます。

